令和６年度　　研究構想図

学　校　教　育　目　標

自ら学び　心豊かで　たくましく生きぬく子供

研　究　主　題

主体的に学習に取り組み、互いに学び合う児童の育成

～指導方法の工夫とカリキュラムマネジメントの充実を通して～

本校で育成したい資質・能力

【知識・理解】　基礎・基本の学力

【思考力・判断力・表現力】　①思考力・判断力・表現力（応用力・活用力）

【学びに向かう力、人間性】　②主体性　③コミュニケーション能力　④チャレンジ精神
⑤多様性（自己肯定感）

研　究　仮　説

複式・少人数学習のよさをいかした主体的な学びを展開すれば、児童は自分の考えをもち、進んで表現し深め合うことができるであろう。

研　究　内　容

1　複式・少人数学習のよさをいかした学びの展開
- **①「伝え合い名人」で考えを深め合う**
- **②　気付きを促す「考える鍵」**
- **③　振り返りで学びを自覚**

2　自己の生き方についての考えを深めさせる道徳の授業
- **①　道徳的価値・主題を捉える発問づくり**
- **②　効果的な板書**
- **③　カリキュラムマネジメントの充実**

3
- **①　異学年交流**
- **②　特別活動の充実**

低学年：　話をよく聞き、友だちの意見に積極的に反応したり友だちの意見につなぐ言葉を使ったりしながら、自分の考えを伝え深めることができる。

中学年：友だちと自分の意見を比較して聞き、相手の意見とつなげながら考えを伝え深めることができる。

高学年：友だちの意見を聞いて自分の考えをまとめ、相手に意見を求めながら考えを伝え深めることができる。

算数科や理科の授業に、活用問題を取り入れる。

家庭学習の定着を図る。（４学年以上は、家庭学習の中に予習・復習を取り入れる。）